

令和8年度～令和17年度
さとうきび増産に向けた取組目標及び取組計画（3期）

西表島

策定主体：西表島さとうきび増産プロジェクト会議

地域において目指す姿

- ・ 今後の農家戸数の減少に備え、作業の機械化体系に向けた取り組みや、作業受委託組織等の育成を図る。
- ・ 1農家の栽培面積が増えてくるので、必要な機械の導入と委託作業を推進する。
- ・ 今後は、高齢化や農家戸数の減少等を踏まえ、生産量の維持及び減産を食い止める対策を今から考え実践していく。基本的な栽培技術の変更等も考えていかなければいけない（栽培指針の見直し等）

増産計画目標

(1) 生産目標

	収穫面積 (ha)				単収 (t / 10a)				生産量 (t)				
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
R6年産策定時	73.0	5.0	96.0	174.0	7.4	5.2	5.2	6.1	5404.0	279.0	5006.0	10689.0	
R8年産	目標	60.0	15.0	90.0	165.0	7.3	5.2	5.5	6.1	4380.0	780.0	4950.0	10110.0
R9年産	目標	60.0	15.0	90.0	165.0	7.3	5.2	5.5	6.1	4380.0	780.0	4950.0	10110.0
R10年産	目標	60.0	15.0	90.0	165.0	7.3	5.2	5.5	6.1	4380.0	780.0	4950.0	10110.0
R17年産	目標	60.0	15.0	90.0	165.0	7.3	5.2	5.5	6.1	4380.0	780.0	4950.0	10110.0

(2) 担い手育成目標

	区分	認定農業者			受託組織		大規模生産農家		
		数	面積 (ha)	生産額 (万円)	数	面積 (ha)	数	面積 (ha)	
R6年度策定時		13			1			0	
R8年度	目標	15			1			0	
R9年度	目標	15			1			0	
R10年度	目標	15			1			0	
R17年度	目標	18			1			0	

(3) その他地域で独自に設定する目標

	夏植	春植	株出	合計
R6年度策定時	-	-	-	-
R8年度	目標	-	-	-
R9年度	目標	-	-	-
R10年度	目標	-	-	-
R17年度	目標	-	-	-

(4) 分析と評価

① 2期計画で挙げた課題

・適期植付、肥培管理 ・単収向上 ・優良種苗の確保、増産 ・生産組合の活性化

② ①で挙げた課題に対して解決に向け取り組んだ内容

・農作業機械の導入 ・優良種苗安定確保事業の活用 ・受委託組織の組織化

③ ①で挙げた課題のうち②により解決した課題

適期植付、肥培管理 ・優良種苗の確保、増産

④ ①で挙げた課題のうち解決できなかった課題とその要因

適期植付、肥培管理(農作業機械の十分な確保が行えていない。)
生産組合の活性化(受委託を担える農業者の育成が不十分。)

⑤ 新たに生じた課題

・地力低下による反収の低下(緑肥栽培の推進) ・オペレータ不足による機械の有効利用 ・肥料・農薬の価格高騰
・干ばつ対策

⑥ 令和17年産目標に向けた現状評価及び見通し

収穫面積、単収、生産量を維持することを目標としているため、減産を回避するため作型・品種構成の見直しが必要である。

(5) 地域重点事項(地域独自で取り組んでいる重点事項を記載)

・受委託作業の組織化や農作業機械オペレータの育成
・地力向上に向け、緑肥や堆肥等を用いた積極的な土づくり

(6) 以下の項目のうち重要（特に議論するべき）と考える項目を3つ程度選択して✓を入れて下さい。

1 経営基盤の強化

- 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保
- 農業共済制度への加入促進

2 生産基盤の強化

- 気象災害に強い生産基盤の整備
- 機械化一貫体系の確立
- 地力の増進

3 技術対策

- 病虫害防除
- 台風・干ばつ対策
- 優良品種の選択・普及

4 その他（自由記述）

※✓した項目については、OPの「～～」を作成する

目標達成に向けた取組計画

I 経営基盤の強化

① 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保

【現状】

- ・ さとうきび生産者のうち認定農業者は平成27年の36人から令和6年は13人であり、法人2、生産組合1の担い手形態である。
- ・ 農地中間管理機構の活用について、農地利用が飽和状態にあり、掘り起こしが必要となっている。

【課題】

- ・ 農地利用集積については、農地利用が飽和状態にあり空いている農地が少ない。また、出し手の情報が少なく掘り起こしが必要となっている。
- ・ 基幹作業の受委託組織の整備が遅れている。
- ・ 認定農業者等担い手の育成

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 農地中間管理機構の利用拡大(農地中間管理機構)
- ・ 農作業受託の効率化と体制整備(工場、生産組合)
- ・ 農業機械オペレータの育成(県、町、工場、生産組合)

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・OCR調査時にさとうきび農家への今後の生産意向について確認し、さとうきび農地の貸し借りを推進する。
- ・引き続き各種オペレータ研修や各種機械実演会を通して生産法人等、オペレータの育成を実施する。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・地域計画の元、地域の話合いに参加し、さとうきび栽培の担い手へスムーズに引き継ぎ、農地中間管理機構を活用しさとうきび農地の集積・集約化を支援する。耕作放棄地になった農地からさとうきび農地へ転換できるよう、関係期間と連携する。

【自由記述欄】 ※例) 国補正事業(生産対策)のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

Ⅰ 経営基盤の強化

② 農業保険の加入促進

【現状】

さとうきび生産農家の経営安定を図るため、農業共済組合八重山支所と連携し農業共済制度の普及・啓発、加入促進を図っているが、農家には収入保険制度に対する認識不足が見られるため、制度の理解促進が課題となっている。この状況を受け、説明会やOCR調査の機会を活用し、関係団体と連携しながら共済加入の促進と制度の普及啓発に取り組んでいる。

<農業共済加入状況>

	H26	R5	R6
共済加入戸数	24	13	12
(率)	39.6	15	16
引受面積(ha)	43.82	20.1	19.4
(率)	30.2	10	12

【課題】

- ・ 農家の共済制度に対する理解が十分でなく、一層の制度周知が必要。
- ・ 収入保険制度の周知が必要。
- ・ 高齢者や小規模農家は加入意欲が低く、共済制度加入への関心が薄い。
- ・ 大規模農家では掛金の負担が大きいため、加入率の低下が懸念される。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 共済制度や収入保険のパンフレットを作成し、各種会議でPRを実施した（共済組合）
- ・ 品目別経営安定対策要件申請（OCR調査）等と併せた加入促進（共済組合、JA、町）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ 共済制度への理解を得るため、引き続き集落、生産組合単位での共済制度説明会を開催し、引受推進に努める。
- ・ 共済加入率の増加に向けて、パンフレットを活用し、製糖終了報告会やさとうきび生産組合の会議等に合わせ、関係機関（農業共済組合やJA等）と連携し加入を推進する。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 栽培管理改善による単収の向上で収益を増やし、共済加入への意欲を高める
- ・ 農業共済のパンフレットやチラシを活用し、加入の斡旋を継続して行う

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

① 気象災害に強い生産基盤の整備

【現状】

< 農業基盤整備の状況 >

【現状】

土地基盤整備面積：59.4% (R6)

畑地灌漑整備率：16.8% (R6)

水源整備率：17.4% (R6)

竹富町全体値

【目標】

土地基盤整備面積：66% (R6)

畑地灌漑整備率：26% (R6)

水源整備率：27% (R6)

竹富町全体値

【課題】

- ・ 防風林の整備は進められているが、維持管理作業時の人員不足が生じている。
- ・ 水源はあるもののかんがい施設の整備が遅れていることから、かんがい施設整備を図る。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 台風被害の軽減化を図るため防風・防潮林の整備を推進するとともに農家への意識の啓発を推進する。(町、県)
- ・ かんがい施設等の整備(町、県)

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・干ばつ対策、防風林維持管理の具体的な実施方法の検討

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・必要な基盤整備を地域の実情に応じて着実に進める。

【自由記述欄】 ※例) 国補正事業(生産対策)のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

② 機械化一貫体系の確立

【現状】

令和6/7年期 刈取・脱葉面積

(1) 刈取

		処理面積 (ha)	処理量 (t)
人 力		68.7	4232.0
機 械 刈 取		105.1	6458.0
1	刈 取 機	39.1	2405.0
2	ハーベスタ	66.0	4053.0
合 計		173.8	10690.0

今後の機械導入予定(目標)

ハーベスタ(中1台・小型2台)	3台
トラクタ(大1台・中1台)※自動操舵	2台
ロータリー	2台
ビレットプランタ	2台
プラソイラ	2台
リバーシブルプラウ	2台
複合株出管理機	1台
マルチャー	1台
部分更新機	1台
ディスクハロ	1台
ハイクリブームスプレーヤ	1台
農業等散布用ドローン	1台
ユニック車(苗搬入機)	2台
堆肥散布車	1台

(2) 脱葉

		処理面積 (ha)	処理量 (t)
人 力		98.0	6036.0
機 械 脱 葉		75.7	4653.8
1	ドラム脱葉機		
2	ベビー脱葉機		
3	チョッピング コンベア式 脱葉機		
4	ハーベスタ	66.0	4053.0
5	集中脱葉施設(人力無脱葉)	9.7	600.0
6	その他 (名称:		
合 計			

【課題】

- ・含みつ糖製造にあわせた収穫体系の構築。
- ・高齢化、労働力不足解消に向けた収穫の機械化の確立。
- ・オペレータの育成及び作業受委託体制の整備。
- ・採択地区数の減少によるハーベスタの更新が滞っている。
- ・株出管理が遅れることで、雑草繁茂や分けつ数が少なくなることにより、茎数不足となっているほ場も見られる。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・各種機械の修繕や機械導入方針に基づいた補助事業の活用（国、県、町）
- ・オペレータ育成に向けた講習会等の実施（農業機械士協議会、さとうきび協議会、JA、県）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ハーベスタ機能向上事業の実施
- ・機械導入事業の実施
- ・オペレータ育成に向けた講習会の実施

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ハーベスタ機能向上事業の継続実施
- ・機械導入事業の実施

【自由記述欄】 ※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

③ 地力の増進

【現状】

- ・堆肥は島内で調達できないため、島外から輸送しているがコストがかかっている。
- ・現在、循環型農業における堆肥づくりの体制づくりの取組が島内で行われている。
- ・トラッシュの畑地還元の実施
- ・緑肥による地力増進を推進しているが普及が進んでいない。

【課題】

- ・島内の循環型農業の推進
- ・製糖工場から排出されるフィルターケーキを活用した地力向上対策の推進

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・島内畜産農家と連携した耕畜連携に向けた取組(町)
- ・深耕や心土破碎の実施(町)

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・新植で堆肥等有機物投入、植付前の緑肥栽培の推進。
- ・深耕や心土破碎の実施

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・マニユアスプレッダーの導入による堆肥や土壌改良資材の散布

【自由記述欄】 ※例) 国補正事業(生産対策)のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

① 病虫害防除

【現状】

病虫害防除は生産農家個々で行われているが、更に効果を上げるため一斉防除の対策が必要。

- ・防除農薬の適期散布の周知
- ・ヤソ駆除剤の補助
- ・イノシシ被害に対し、侵入防止柵や保護により対応している。

【課題】

- ・イネヨトウ他メイチュウの発生密度が高く、芯枯被害が懸念される。
- ・さとうきびのイノシシ被害が多くなっている。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・メイチュウ類対策では交信攪乱法等の技術や、粒剤施用を活用した共同防除を徹底する。（県、町、さとうきび協議会）
- ・イノシシの捕獲、侵入防止策の整備を行う。（町、鳥獣対策協議会）
- ・一斉防除等の効果的な防除の実施（生産組合）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・発生予察情報、巡回等により病害虫の発生状況を確認し、初期防除に努める。
- ・生産組合による一斉防除の実施

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・品種構成の適正化。
- ・ドローン等のスマート農業技術の導入による防除作業の省力化。

【自由記述欄】 ※例) 国補正事業(生産対策)のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

② 台風・干ばつ対策

【現状】

【台風対策】

- ・ 台風被害リスクを分散するため抵抗性品種、耐病性品種の導入を進めている。

【干ばつ対策】

- ・ 水源・灌漑整備率が低いにも関わらず、対策の検討が不十分。

今後は展示圃場を活用したかん水の効果的な啓発や、補助事業の活用による生産性向上支援も必要であるとともに、気象災害への対応力の強化が急務となっている。

【課題】

- ・ 防風防潮林の整備促進、育樹等管理作業の重要性に関する普及啓発
- ・ 干ばつ要件発生時の事業活用による生産回復を行う

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 講演会による普及啓発や地域生産者等による植樹、育樹活動の実施（県、町）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・地域の干ばつ対策会議の開催によるかん水等対策の実施
- ・セーフティ基金事業活用による自然災害（台風・干ばつ）への対策

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・耐風性、耐干ばつ性品種の育成・導入
- ・育樹等管理作業の徹底による防風・防潮林の整備

【自由記述欄】 ※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

③ 優良品種の選択・普及

【現状】

<品種別作付け面積の推移> 栽培比率(%)

	NiF8	Ni27	Ni26	その他
H29	31	41	2.4	23
H30	26	47	2.4	24
R元	26	47	1.3	24
R2	18	54	1.2	27
R3	17	55	1.2	26.8
R4	24	53	0	23
R5	25	57	0	18
R6	26	50	0	24

【課題】

- ・ 気象災害、病害虫に対するリスク分散を図るため、品種構成の適正化を図る必要がある。
- ・ 含蜜糖生産地域向けの品種の選定

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 種苗対策事業による優良種苗ほの設置（県、町）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ 品種に対する理解を共有するため、栽培講習会を実施する。
- ・ 無病健全苗に対する講習会を実施し、種苗対策の強化に努めていく。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 新品種の導入等による品種構成の適正化を図る。

【自由記述欄】※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイディア要望等

生産量が増えた場合、製糖開始を早め、4月中旬以降の操業をなるべく行わないようにするために、早期高騰品種の選定と、普及を図っていく。（11月操業開始、刈取可能な早期高騰品種を導入する）

重点課題における関係者の役割分担と実施状況

重点項目： 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
竹富町					・認定農業者の育成 ・共済加入促進 ・中間管理機構の活用	・再認定の促進 ・共済PR動画の周知 ・地域計画協議の場での説明
普及課					認定農業者の育成	農業経営改善計画作成指導
西表糖業					オペレータ育成 共済加入協力	受託体制の強化

重点項目： 機械化一貫体系の確立

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
竹富町					・事業導入計画 (機械、精脱施設)	機械導入方針に基づく実施及び 予算措置
JA					事業導入計画作成	機械導入方針に基づく実施
西表糖業					事業計画作成における 情報提供等	機械導入方針に基づく実施

重点項目： 地力の増進

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
竹富町					・地域資源循環型農業 (堆肥づくり)の推進	耕畜連携体制の構築
普及課					栽培技術指導	現地検討会の実施
西表糖業					栽培技術や土づくりの普及	耕畜連携体制の構築

さとうきび関係事業の活用実績（R7年度～）

【国補正事業（生産対策）】

事業年度	取組内容	計画額	うち補助金	実績額
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

【セーフティネット事業】

事業年度	取組内容	計画額	うち補助金	実績額
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

【実証・研究事業（国事業・県事業）】

事業年度	事業名	取組内容	総事業費	補助金	その他
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

【機械導入（国事業・県事業）】

事業年度	事業名	導入機械	総事業費	補助金	その他
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

【市町村単独事業】

事業年度	市町村名	事業名	取組内容	予算額	実績額
R7	竹富町	さとうきび増産対策事業	ヤソ防除	1,250,000	-

(参考情報①)

1. 県(島)の概況、農業・さとうきび作の位置づけ等

2021年世界自然遺産に登録。島の周囲130km、面積289.27km²で人口は2,290人である。
さとうきびを中心とする農業が島の主な産業である。

2. さとうきび生産の現状

生産の現状	令和6年度における西表島のさとうきび生産量は10,689tであり、目標値である10,586tの約100.9%に達した。前年(令和5年度)の実績は9,513トンであったため、約1,100tの増加となり、安定生産を維持している。機械化においては、今後の担い手の状況や生産環境を考慮すると機械導入や諸課題の解決に向けた取組を急ぐ必要がある。
-------	---

【近年の作物別作付面積の動向】

(1) 作物別作付け面積の動向

	耕地面積	作付面積	耕作放棄地	さとうきび	かんしょ	水稻	野菜	飼料作物	その他
H17	589	—	—	244	—	—	—	254	—
H18	589	—	—	236	—	—	—	254	—
H19	589	—	—	203	—	—	—	281	—
H20	589	—	—	232	—	—	—	283	—
H21	589	—	—	236	—	—	—	283	—
H22	589	—	—	222	—	—	—	300	—
H23	589	—	—	236	—	—	—	298	—
H24	589	—	—	271	—	—	—	200	—
H25	589	—	—	251	—	—	—	175	—
H26	589	—	—	253	—	—	—	179	—
H27	722	—	—	280	—	—	—	384	—
H28	722	—	—	280	—	—	—	383	—
H29	722	—	—	280	—	—	—	383	—
H30	722	—	—	280	—	—	—	383	—
R元	722	—	—	283	—	—	—	383	—
R2	722	—	—	297	—	—	—	382	—
R3	722	—	—	298	—	—	—	382	—
R4	722	—	—	298	—	—	—	382	—
R5	722	—	—	298	—	—	—	382	—
R6	722	—	—	298	—	—	—	254	—

(2) さとうきびの収穫面積、単収、生産量、糖度の推移

	収穫面積 (ha)				単収 (t/10a)				生産量 (t)				糖度
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
H17	108	8	11	127	6.3	3.8	3.2	4.4	6,832	305	360	7,497	14.9
H18	111	6	7	124	5.7	3.8	3.2	4.2	6,414	233	222	6,869	15.9
H19	92	8	11	111	7	4.2	3.7	5.0	6,449	329	431	7,209	14.4
H20	88	6	14	108	6	4.3	3.6	4.6	5,309	240	527	6,076	16.3
H21	105	13	17	135	9	5.2	4.7	6.3	9,547	709	822	11,078	16.5
H22	99	7	23	129	7.9	5.4	4.9	6.1	7,823	375	1,120	9,318	14.5
H23	84	18	25	127	6.1	5.5	5.5	5.7	5,124	973	1,376	7,473	15
H24	107	7	47	161	5.9	3.8	4	4.6	6,428	259	1,890	8,577	15.2
H25	85	9	48	142	6.2	3.7	3.7	4.5	5,242	321	1,790	7,353	15.20
H26	99	16	31	146	7.2	5.9	5.1	6.1	7,141	920	1,573	9,634	15.50
H27	107	3	26	136	7.4	2.2	2.8	4.1	7,896	73	748	8,717	14.06
H28	99	5	30	134	7.7	4.6	5.5	5.9	7,668	230	1,633	9,531	14.99
H29	106	9	49	164	8	4.6	5.9	6.2	8,488	401	2,884	11,773	14.56
H30	85	8	79	172	8.1	4.6	5.8	6.2	6,909	388	4,601	11,898	15.05
R元	78	13	88	179	7	4.4	4.9	5.4	5,526	563	4,376	10,465	15.39
R2	67	15	95	177	7.8	4.5	5.8	6.0	5,255	692	5,513	11,460	14.73
R3	82	13	105	200	9.1	5.6	6	6.9	7,503	710	6,354	14,567	15.06
R4	58	6	112	176	6.8	3.1	4.3	4.7	3,991	177	4,826	8,994	14.22
R5	49	15	100	164	7.3	5	5.1	5.8	3,610	763	5,138	9,511	14.33
R6	72	5.4	95	172	7.4	5.1	5.2	5.9	5,404	279	5,006	10,689	14.73

(参考情報②)

【年齢階層別農 作成年月日：令和7年8月 日

	29歳以下	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
H17	—	—	—	—	—	0
H18	—	—	—	—	—	0
H19	4	6	19	31	18	78
H20	4	6	17	32	19	78
H21	2	4	15	27	18	66
H22	2	4	10	29	15	60
H23	1	7	8	14	16	46
H24	3	8	8	26	31	76
H25	1	8	9	26	31	75
H26	2	8	7	24	35	76
H27	6	9	8	18	45	86
H28	6	9	8	18	45	86
H29	6	9	8	18	45	86
H30	6	9	8	18	45	86
R元	6	8	8	18	44	84
R2	2	11	8	13	48	82
R3	1	8	14	11	52	86
R4	1	7	11	10	49	78
R5	1	6	11	10	46	74
R6	1	4	13	4	54	76

【経営（収穫）規模別農家戸数】

	100a未満	100~300a未満	300~500a未満	500a以上	合計
H17	—	—	—	—	0
H18	—	—	—	—	0
H19	—	—	—	—	0
H20	38	19	7	3	67
H21	36	22	10	6	74
H22	43	22	12	3	80
H23	37	26	9	4	76
H24	32	30	11	5	78
H25	39	24	12	5	80
H26	37	29	12	3	81
H27	39	31	8	3	81
H28	37	30	11	3	81
H29	29	31	13	7	80
H30	27	36	14	4	81
R元	31	30	14	7	82
R2	30	33	13	6	82
R3	26	41	12	7	86
R4	24	36	12	6	78
R5	27	29	10	8	74
R6	29	30	10	7	76

【製糖工場の操業状況】

	操業率 (%)	操業期間 (日)	歩留 (%)	トラッシュ率 (%)
H17	74.97	78	15.05	2.5
H18	68.69	83	15.56	3.47
H19	72.09	80	14.22	2.16
H20	60.77	76	16.51	1.4
H21	110.79	120	15.96	1.74
H22	93.18	102	13.77	1.08
H23	74.72	82	14.43	0.93
H24	85.77	100	14.84	0.91
H25	73.53	104	14.52	0.92
H26	96.35	115	12.14	4.11
H27	87.18	109	12.76	0.92
H28	95.31	106	14.32	0.9
H29	117.73	131	13.92	1.33
H30	118.98	133	13.93	5.14
R元	104.65	127	14.51	7.68
R2	114.59	135	13.07	7.25
R3	93.02	174	9.56	10.12
R4	81.03	118	12.46	9.5
R5	95.13	133	13.03	9.42
R6	95.62	131	12.91	9.1

(参考情報③)

【作業受託組織の状況】

	農作業受託組織数			農作業受託調整組織の有無と役割		
	合計	組織	個人	有無	名称	役割
R7	6	2	4		<ul style="list-style-type: none"> ・西表島さとうきび生産組合 ・(株)かなもり農園 ・外、個人4名 	機械収穫受託、手刈収穫受託

【作業委託料金】

作業名	料金	料金の設定方法及び島内の料金体系	備考
収穫	0	機械：5,000円/t 手刈：8,000円/t	-
植付	0	-	-
株出管理	0	-	-
防除	0	-	-
その他	0	-	-

(参考情報④)

【畑地かんがいの整備状況】

	貯水施設		畑地かんがい 整備率	かん水方法			畑地かんがい整備の現状と 整備率向上に向けた今後の取組
				形態	使用料金	使用条件等	
R7	地下ダム	-	-	Ⅲ型	-	-	-
	ダム	-	-		-	-	-
	ため池	-	-		-	-	-
	その他	-	-		-	-	-

(参考情報⑤)

【共済加入目標】

	H26	R6	R7	R8	R9	R12	R17
有資格戸数	68	74	74	74	74	74	74
加入戸数	24	12	14	16	18	24	34
戸数引受率(%)	39.6	16	19	22	24	32	46
対象面積(ha)	54.7	58.7	58.7	58.7	58.7	58.7	58.7
引受面積(ha)	43.82	19.4	19.76	23.54	26.4	35.2	50.6
面積引受率(%)	80	33	34	40	45	60	86
支払金額(千円)	337	419(見込み)	—	—	—	—	—

【収入保険制度への加入目標】

	H30	R6	R7	R8	R9	R12	R17
有資格戸数	—	74	74	—	—	—	—
加入戸数	—	2	2	—	—	—	—
引受面積(ha)	—	11.5	11.5	—	—	—	—
面積加入率(%)	—	7	7	—	—	—	—

(参考情報⑥)

【作型別割合】

	夏植	春植	株出し
H17	85.0%	6.3%	8.7%
H18	89.5%	4.8%	5.6%
H19	82.9%	7.2%	9.9%
H20	81.5%	5.6%	13.0%
H21	77.8%	9.6%	12.6%
H22	76.7%	5.4%	17.8%
H23	66.1%	14.2%	19.7%
H24	66.5%	4.3%	29.2%
H25	59.9%	6.3%	33.8%
H26	67.8%	11.0%	21.2%
H27	78.7%	2.2%	19.1%
H28	73.9%	3.7%	22.4%
H29	64.6%	5.5%	29.9%
H30	49.4%	4.7%	45.9%
R元	43.6%	7.3%	49.2%
R2	37.9%	8.5%	53.7%
R3	41.0%	6.5%	52.5%
R4	33.0%	3.4%	63.6%
R5	29.9%	9.1%	61.0%
R6	41.8%	3.1%	55.1%
R17(目標)	36%	9%	55%

【株出し回数別面積】

	株出し回数別面積 (ha)										平均回数
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	
H17	28	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1.07
H18	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.00
H19	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.00
H20	25	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1.08
H21	25	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1.11
H22	35	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1.08
H23	47	4	1	0	0	0	0	0	0	0	1.12
H24	64	13	7	1	0	0	0	0	0	0	1.35
H25	35	9	4	0	1	0	0	0	0	0	1.43
H26	24	5	2	0	0	0	0	0	0	0	1.29
H27	25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1.04
H28	28	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1.03
H29	41	6	2	0	0	0	0	0	0	0	1.20
H30	50	23	4	2	0	0	0	0	0	0	1.47
R元	53	22	10	3	1	0	0	0	0	0	1.62
R2	61	23	9	0.3	0.3	0	0	0	0	0	1.46
R3	60	22	9	0.3	0.3	0	0	0	0	0	1.46
R4	63	30	9	6	3	1	1	0	0	0	1.79
R5	42	35	15	4	2	0	1	0	0	0	1.92
R6	51	22	18	3	2	0	1	0	0	0	1.84
R17	50	30	10	0	0	0	0	0	0	0	1.56

竹富町全体値

(参考情報⑦)

【近年の品種別収穫面積の推移】

作型	夏植						春植						株出し						合計					
	NiF8	NiI5	Ni2I	Ni26	Ni27	その他	NiF8	NiI5	Ni2I	Ni26	Ni27	その他	NiF8	NiI5	Ni2I	Ni26	Ni27	その他	NiF8	NiI5	Ni2I	Ni26	Ni27	その他
H17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H25	43	21	2	4	13	2	3	1	2	0	2	1	32	2	9	3	1	1	78	25	12	7	16	3
H26	36	27	4	7	21	4	3	1	1	0	9	1	14	2	3	2	5	5	53	30	8	9	35	10
H27	32	11	10	10	34	10	3	0	0	0	0	0	8	3	2	1	11	1	43	14	12	11	45	11
H28	40	6	4	2	41	6	1	0	1	0	2	1	8	0	2	2	15	1	49	6	7	4	58	8
H29	37	6	4	2	37	18	2	0	0	0	3	2	10	2	2	2	27	5	49	8	6	4	67	25
H30	26	4	3	2	31	20	2	0	0	1	3	3	17	1	2	2	46	13	45	5	5	5	80	36
R元	22	0	0	3	34	18	1	0	0	0	5	6	18	1	3	1	50	15	41	1	3	4	89	39
R2	13	0	0	0	34	19	1	0	0	0	8	3	15	0	2	0	54	22	29	0	2	0	96	44
R3	17	0	0	0	32	19	1	0	0	0	7	3	18	1	4	1	43	24	36	1	4	1	82	46
R4	16	0	0	0	23	18	1	2	0	0	2	3	17	0	3	1	67	24	34	2	3	1	92	45
R5	16	0	0	0	18	15	4	0	0	0	8	4	19	0	2	1	61	18	39	0	2	1	87	37
R6	18	0	0.8	0.2	13	15	5	2	0	0.2	2	2	20	0	3	0	52	19	43	2	3.8	0.4	67	36